

24 百舌鳥古墳群周辺のまちづくりについて

【提案・要望先】国土交通省

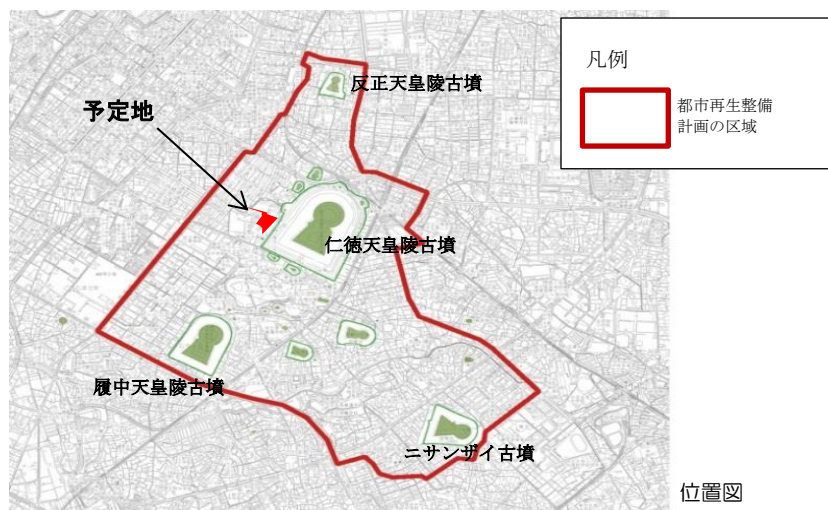
～提案・要望事項～

- 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を見据え、百舌鳥古墳群周辺における歴史文化を活かしたまちづくりに必要な財源を継続的に確保すること。

【現状と課題】

- 令和元年の百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向け、平成29年に国内推薦を獲得。
- これまでに、社会資本整備総合交付金を活用し、履中天皇陵古墳（日本で3番目の大きさ）を間近にのぞむ視点場（ビュースポット）を整備したほか、古墳群の周遊サインの整備にも着手している。
- 今後、来訪者の受入体制を更に強化するため、引き続き周遊サインの整備を進めるほか、百舌鳥古墳群周辺の歴史文化を活かしたまちづくりの核となる（仮称）百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備を進め、古墳群の価値を理解していただける環境整備を進める必要がある。

◆今後の主な事業（（仮称）百舌鳥古墳群ガイダンス施設、周遊サイン）



位置図



周遊サイン（誘導サイン）

◆補助対象事業費、国庫補助額（社会資本整備総合交付金・都市再生整備計画事業）

	令和2年度（見込額）
補助対象事業費	796,800 千円
国庫補助額	358,600 千円

事業進捗に応じた国庫補助金を確保することにより、（仮称）百舌鳥古墳群ガイダンス施設や周遊サイン等の整備を進める。

百舌鳥古墳群を快適に周遊できる環境を整備し、その価値や魅力を理解・体感できる拠点を整備することで、百舌鳥古墳群周辺のまちづくりが進む

【本件に関する連絡先】

文化観光局 世界文化遺産推進室次長 増田 一（TEL:072-228-7014）